

議案第1号 2014年度事業報告、収支決算および監査報告

I 一般事業

1 会員の状況（総会議案書に掲載）

2 広報事業

- (1) 会誌「北海道の自然」発行：第53号（2015年2月、108頁）
- (2) 会報「NC」発行：No.162(2014年7月、12頁)、No.163(10月、12頁)、No.164(2015年1月、12頁)、No.165(4月)
- (3) ホームページの充実（適宜内容追加）

3 普及事業

- (1) 第21回夏休み自然観察記録コンクール（2014年8~9月、応募数88点、27校）
金賞1点：土屋 凜(札幌市立平岡小学校4年)「トンボの観察パート3」
銀賞2点：福井春太郎(札幌市立宮の森小学校1年)「ありのかんさつ」
：岸本隆之介(札幌市立真駒内桜山小学校6年)「カタバミとコニシキソウの野望」
銅賞6点、佳作20点、学校賞3校（内容省略）
- (2) 自然保護講演会・シンポジウム
 - ①2014年4月「八ツ場ダムとサンルダム」サクラマスまもり隊と共催（参加30名、札幌市）
 - ②2014年5月「地熱発電と国立公園の自然―大雪山白水沢の開発計画から―」
（寺島一男：大雪と石狩の自然を守る会代表、参加50名、札幌市）
 - ③2014年5月「ここまで来たダムの撤去」サクラマスまもり隊と共催（参加35名、札幌市）
 - ④2014年9月「風力発電を考える」（武田恵世：環境省希少野生動植物種保存推進委員・田尻浩伸：公益財団法人日本野鳥の会・佐藤謙：北海学園大学教授、安田秀子：石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会、後藤美智子：銭函海岸の自然を守る会、参加100名、札幌市）
- (3) 自然を語る会(札幌市・2014年8月~10月)
 - ①2014年8月「木を見て、森も見てください」興野昌樹氏（円山動物園の森協議会委員）
 - ②2014年9月「支笏湖の生い立ちと自然」若松幹男氏（地図と鉱石の山の手博物館理事）
 - ③2014年10月「根室半島フレシマの自然景観と植物」佐藤 謙氏（北海学園大学教授）
- (4) 自然保護大学(札幌市・2014年11月)
「漂流物の見方、海辺の面白さについて」志賀健司氏（いしかり砂丘の風資料館学芸員）
「エトピリカ・プロジェクト：海鳥を知り・守る」片岡義廣氏（NPO法人エトピリカ基金理事長）
「札幌発！ワイルドサーモンプロジェクトについて」有賀 望氏（公益財団法人札幌市公園緑化協会西岡公園講演学芸員）

4 調査研究および自然保護運動

- (1) 意見書・要望書（当協会単独で提出）提出16件
 - ①2014年4月『猿払村及び浜頓別町における風力発電事業計画段階環境配慮書に対する意見』（エコパワー(株)宛）
 - ②2014年4月『猿払村及び浜頓別町における風力発電事業計画段階環境配慮書に対する当会の意見内容に真摯なご検討を要請します』（環境大臣宛）
 - ③2014年5月『「根室フレシマ風力発電所」建設への反対を求める要望書』（根室市長宛）
 - ④2014年5月『北5条西8丁目地区都市計画に関する要望』（札幌市都市計画審議会委員宛）
 - ⑤2014年6月『(仮称)天北風力発電所環境影響評価準備書に対する意見』（(株)天北エネルギー宛）
 - ⑥2014年7月『意見書』（札幌市都市計画審議会会長宛）

- ⑦2014年7月『平成26年度エゾシカの捕獲禁止及び制限（可猟区域）について（道案）に係る意見書』（北海道知事）
- ⑧2014年7月『（仮称）苫前風力発電事業計画段階環境配慮書に関する意見』（株）ユーラスエナジーホールディング宛）
- ⑨2014年7月『道北中央風力発電事業の計画段階配慮書に関する意見』（株）道北エナジー宛）
- ⑩2014年7月『道北北西部風力発電事業の計画段階配慮書に関する意見』（株）道北エナジー宛）
- ⑪2014年9月『北5条西8丁目地区(伊藤邸敷地)の緑地保全についての要望書』（札幌市都市計画審議会宛）
- ⑫2014年12月『北海道アザラシ管理計画(素案)に対する意見書』（北海道知事宛）
- ⑬2015年1月『（仮称）勇知風力発電事業環境影響評価方法書に対する意見』（株）道北エナジー宛）
- ⑭2015年1月『芦川・豊富山風力発電事業環境影響評価方法書、川西・川南風力発電事業環境影響評価方法書、ならびに増幌風力発電事業方法書に対する意見』（株）道北エナジー宛）
- ⑮2015年2月「大雪山国立公園における登山道のグレードの設定（案）」に関する意見（環境省北海道地方環境事務所大雪山パブリックコメント窓口）
- ⑯2015年3月「北海道エゾシカ管理計画(第4期)素案に係る意見等」（北海道環境生活部長宛）

(2) 意見書・要望書（他団体と共同で提出。平取ダム建設問題協議会など7団体、十勝自然保護協会など6団体、銭函海岸の自然を守る会、石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会との連名）提出7件

- ①2014年4月『ダム堤体建設工事用道路建設を含む平取ダム建設に関する質問5』（北海道開発局長、室蘭開発建設部長宛）
- ②2014年5月『石狩湾新港ウインドファーム(仮称)事業に係る影響評価準備書に関する緊急の要望書』（北海道環境影響評価審議会各委員宛）
- ③2014年6月『額平川と貫気別川の水位などのデジタルデータ提供についてー平取ダム建設に関する質問その6ー』（北海道開発局長、室蘭開発建設部長宛）
- ④2014年7月『平取ダム工事現場および工事予定地の環境保全対策現場視察について』（北海道開発局長、室蘭開発建設部長、平取町長宛）
- ⑤2014年10月『アイヌ文化保全対策についての要望書』（北海道開発局長、室蘭開発建設部長宛）
- ⑥2014年10月『大雪山国立公園内トムラウシ地区地熱発電計画中止の要望書』（経済産業大臣、環境大臣、林野庁長官、新得町長宛）
- ⑦2014年11月『「（仮称）八の沢風力発電事業に係る影響評価方法書」に対する意見』（株）斐太工務店宛）

(3) 運動

① ダム問題

サンルダム：ダム建設計画に他団体と協働して、現地の観察会、シンポジウム、意見書等の提出の模索。

二風谷ダム：ダムの堆砂問題、およびダム建設によるダム上流部の氾濫の可能性、下流部の地下水の枯渇および沿岸の後退や漁業への影響などについて調査要求を模索している。

平取ダム：「平取ダム建設で失われる自然を守る会」など他団体と協働して公開質問書や意見書を北海道開発局に提出、現地観察会、資料の収集。

当別ダム：札幌市の当別ダムからの取水問題に関連して、協会では長年札幌市による必要水道水量の過剰予想を指摘してきたが、札幌市は今年度初めによりやく協会の指摘に沿った修正を行った。この問題は当別ダムの建設理由にも関連している。

② 風力発電問題

石狩海岸に集中する風力開発事業、道北地方に集中する風力開発事業への環境アセスメントのパブリックコメント（意見書）を事業者とともに道知事、北海道環境保全審議会、環境大臣、経済産業大臣宛に提出。計画段階環境配慮書の縦覧方法に関して、法令の基本理念に基づいた行政対応をもとめて経産大臣、環境大臣、北海道知事に問題を提起。銭函海岸の自然を守る会など他団体と協働した現地視察。

③ エゾシカ増加問題

情報収集、現地調査ならびに意見書提出。

④ その他

2014年12月、新ひだか町静内のオジロワシなどの越冬地である静内真歌地区の治山工事(日高振興局)に対し、会員より保全に向けた相談を受け、応援態勢でいたが、会員が関係機関に越冬地保全の適切な対応を求めた結果、工事方法などは適正に行い、来年以降の工事も十分配慮するとの文書回答を得た。協会として直接要請文などを提出しなかったが、良い結果を得た。

II 特別会計事業

該当なし